

第3回登米圏域会議

【日時】令和6年11月1日（金）10時から11時40分まで

【場所】登米合同庁舎2階 203会議室

【委員からの主な意見】

（1）第6期みやぎ観光戦略プランの中間案

- インバウンドについては、東北地方にコンテンツを求めている旅行者も多いようではあるが、旅行会社でもなかなかその内容を熟知していない。そういう部分にいかにかPRしていけるかが、今後登米圏域の観光を活性化するための鍵であると考えてるので、官公庁が主催するオンライン商談会等も活用して、積極的に売り込んでいく取組をぜひお願いしたい。
- 国内外に向けた交流拡大プロモーションとしてツーリズムEXPOジャパンに出展したが、東北、宮城が出展していない状況が見られた。BtoBも含めた売り込みというのは、市町村単独ではなかなか難しいものなので、県のそうした取組への協力が必要となる。

（2）圏域の施策の方向性及び取組

①圏域の観光の現状課題・施策の方向性及び取組

- 魅力あるコンテンツ作り、グリーンツーリズムの推進と滞在交流型観光の推進についても内容としては良い。
- 情報発信が一番重要。SNSによる発信以外にも、希望としては海外の旅行会社や、教育旅行については学校の方にPRするための活動を、県、市の方で是非充実させてほしい。また、ターゲットをどこに置くか、具体的な設定も必要である。
- インバウンド、特に教育旅行系の案件を受け入れる時に一番重要になるのが、相手方の希望が多い学校交流の調整。場合によっては登米圏域に留まらず、広域的に分担しながらまとめて受け入れていくということも必要。
- 東和町米川地区にある隠れキリシタンの史跡「三経塚」は、韓国からのキリシタンツアーが来訪するなど、今後のインバウンド需要として期待が持てる、非常に有効なコンテンツと考える。

②圏域別数値目標の設定の方向性

- 宿泊施設の減少や、グリーンツーリズムについては、高齢化により受入れが難しくなっていく可能性も踏まえ、民泊の数を増やす工夫をしたり、市中心部のビジネスホテルだけでなく、長沼ボート場クラブハウス、平筒沼の宿泊施設等も積極的に活用していくような提案・取組・情報発信が、この目標を達成するための鍵になると考える。
- 数値目標の設定は、やはり必要だと思う。目標達成のためには住民の理解、協力が必要であり、そのためには、登米市とも協力しながら、目標達成に向けて取組を進めていくべきである。